

9-1 自動で棚割を作成する

概要

自動棚割機能では、既存の棚割モデル変更時に追加になる商品、棚からカットする商品を指定することで自動で商品の差替えおよび棚割の編集を行います。単純にカットした場所に商品を陳列するのではなく、売上情報やゾーニングを加味して最適と推測される位置に陳列し、あわせて棚割全体の編集を実施します。

事前準備

自動棚割を実施する際は、追加商品と削除商品の一覧ファイル、棚割内の位置やフェイス数を変更するため商品のランク付けが必要です。ランク付けするには店POWERに登録された商品分類や売上情報、レジ通過人数を使用します。登録がない場合、自動棚割用のファイルを作成することで商品のランク付けが可能です。

追加商品・削除商品のファイル仕様

追加、削除共に共通商品コード（JANコード）をA列に記載（タイトル不要）したExcel・CSVファイル
詳細は「仕様マニュアル内」[「自動棚割設定」](#)をご確認ください。

自動棚割用のファイルを作成する場合は以下をご確認ください。

「仕様マニュアル内」[「自動棚割設定」](#)

操作方法

棚割モデルを開いている場合

現在表示している棚割モデルに対して自動棚割を実施します。

1. [棚割操作] タブ - [自動棚割] - 「自動棚割（追加削除）」をクリックします。



2. 自動棚割設定画面が表示されます。

棚割モデルを何も開いていない場合

選択した棚割モデルに対して自動棚割を実施します。複数の棚割モデルを選択して、同設定で一括で実施することも可能です。

1. [棚割操作] タブ - [自動棚割] - 「自動棚割 (追加削除)」をクリックします。
2. 自動棚割画面が表示されます。



3. [棚割モデル選択] より、対象となる棚割モデルを選択します。
4. 自動棚割設定画面が表示されます。

特記事項

- 実行後、どのような変更があったかについては「ログファイル」に出力されます。
棚割モデルを開いている場合は実行後に表示される「自動棚割結果」画面からも確認可能です。
※棚割モデルを開かずに実行した場合は、次回表示した際に「自動棚割結果」を表示します。
- 具体的な操作手順、設定方法については「9-2 自動棚割を実施する」をご確認ください。